

## 令和7年度 大池中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

### 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

### 2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

### 3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

### 4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

# 令和7年度 大池中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)		平均IRTスコア 理科
			国語	数学	国語	数学	
3 年	学校	63	47	36	6.6	12.6	454
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2	489
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

## 2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	66	54.2	46.2	45.4	36.8	40.6	8.4	5.7	13.0	11.3	8.7
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	46.5	54.4	6.1	5.8	11.1	9.4	6.5
4月21日	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	46.0	53.9	6.8	6.5	12.1	11.0	7.4
2 年	学校	67										
	大阪市	—										
1月14日	大阪府	—										
1 年	学校	64										
	大阪市	—										
1月14日	大阪府	—		—		—			—		—	

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はB問題を選択

※ 3年生の理科はB問題を選択

## 3 大阪市英語力調査（GTEC）

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】	聞くこと 【リスニング】	書くこと 【ライティング】	話すこと 【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3 年	学校	67	92.5	92.5	115.4	92.6
10月15日	大阪市	—	117.4	110.2	146.4	98.4

## 4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトル ラン	持久走 男子1500m 女子1000m	50m走	立ち 幅とび	ハンドボール 投げ	体力 合計点
	59	(kg)	(数)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
2 年 男 子	学校	30.24	29.43	37.96	52.91	86.09	-	7.74	201.45	18.30	42.57
	大阪市	28.65	26.89	43.47	51.80	80.14	-	8.06	195.02	20.28	41.69
	全 国	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	-	8.00	197.51	20.74	42.20
2 年 女 子	学校	22.85	21.39	45.24	45.52	47.88	-	8.99	156.56	12.11	45.72
	大阪市	23.12	22.70	46.32	46.59	53.12	-	9.03	166.76	12.20	48.14
	全 国	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	-	8.97	166.44	12.43	47.58

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査

＜国語＞ 全国と比較して、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各領域で正答率が低い結果であった。

特に、言葉の特徴や使い方に関する事項の問題について、全国平均よりさらに10ポイント下回る結果となっており、言葉に関する知識や言葉の正しい使い方に課題がみられた。しかし、「読むこと」に関しては、全国平均より2ポイント下回りはしたものの、全国平均との差を昨年度より大きく改善する形となり、国語全体としても改善傾向がみられた。平均正答率も大阪市との差が昨年度9ポイントから5ポイントと縮まる結果となり、改善傾向となった。

＜数学＞ 全国と比較して、「数と式」「図形」の領域では正答率が10ポイント以上低い結果であった。

特に記述問題での正答率が低い傾向が見られた。出題を理解して説明や証明するなど筋道を立てて解答を導く力に大きな課題がみられる。しかし、無回答率、平均正答率ともに大阪市・全国との差がともに改善し、特に無回答率は昨年度より9ポイント改善し、粘り強く問題に向き合う姿勢が見られた。

＜理科＞ 全国と比較してIRTスコアが40ポイントほど低く、IRTバンド集計値でも5などの上位の割合が低い結果となった。記述式の問題で正答率が低い課題もみられたが、元素記号などの知識及び技能を問う分野で全国を上回る結果となった。

○大阪市英語力調査(GTEC)

大阪市の平均スコアと比較して、いずれも下回る結果となった。特に、ライティングの部分で大きな開きがあり(対市比0.72)、スピーキングは対市比(0.94)と開きは少なかった。授業でスピーキング等の言語活動に注力していることが結果につながっている。しかし、相対的に英語力に課題が見られ、基礎学力定着の必要がある。

○全国体力・運動能力、運動習慣調査

大阪市、全国の結果と比較して、男子は50m走や20mシャトルラン、立ち幅跳びなど走力の部分で上回る結果となった。女子は、大阪市・全国の平均に若干届かない結果となったが、50m走は大坂市を上回った。

○中学生チャレンジテスト

3  
年生チャレンジテストは5教科ともに大阪市・府との平均に届かない結果となった。平均無回答率は社会が平均を超えた。基礎学力の定着はもとより、知識を活用した発展問題等に課題がみられた。

【今後に向けて】

生徒質問紙の結果では、家庭学習の時間は全国と比べて少なく、特に休日の家庭学習時間を確保する意識を高めるよう家庭での学習習慣の確立にむけ、家庭とも連携しながら取り組みを進めていくとともに、学力向上をめざし、ICT機器の活用や言語活動の深化充実を一層進めていく必要がある。学習する習慣を構築するとともに、基礎学力の定着を最重要課題に、きめ細かい授業を基本とした教育活動に取り組んでいく。

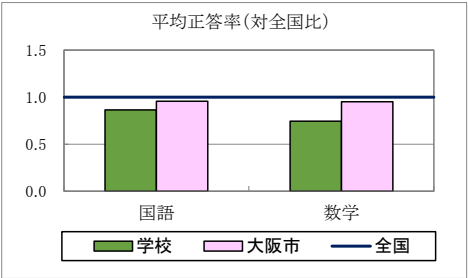
「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに対して肯定的な回答が93.7%、「将来の夢や目標を持っていますか」の問いに対して肯定的回答が75%となり、自己肯定感が全国・大阪市の平均を超える結果となった。また「いじめはいけない」とする回答率は100%で、自分自身と相手を大切にする人権教育の取り組みや活動が成果として表れている。今後も、引き続き多文化共生教育を柱に人権教育を実践していく。

令和7年度 大池中学校のあゆみ  
 ―結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について―

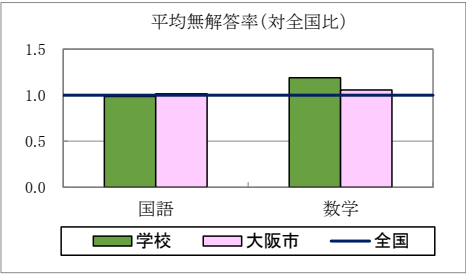
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	47	36
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

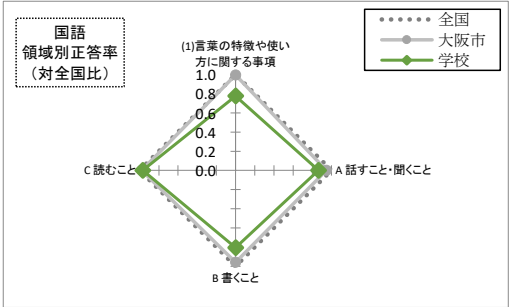
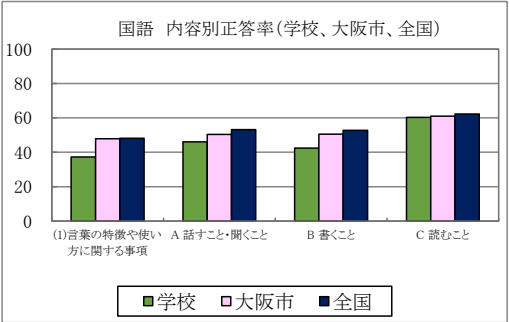


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	6.6	12.6
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



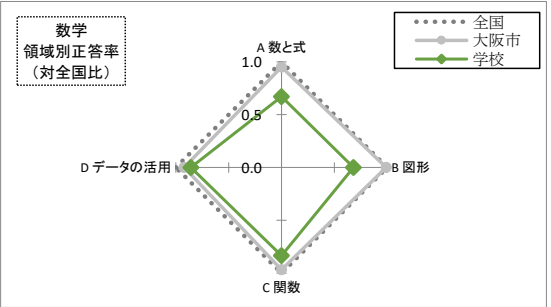
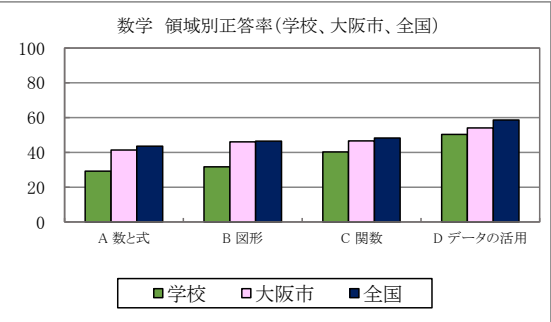
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	37.3	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	46.0	50.4	53.2
B 書くこと	5	42.5	50.6	52.8
C 読むこと	3	60.3	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	29.2	41.4	43.5
B 図形	4	31.7	46.1	46.5
C 関数	3	40.2	46.6	48.2
D データの活用	3	50.3	54.0	58.6

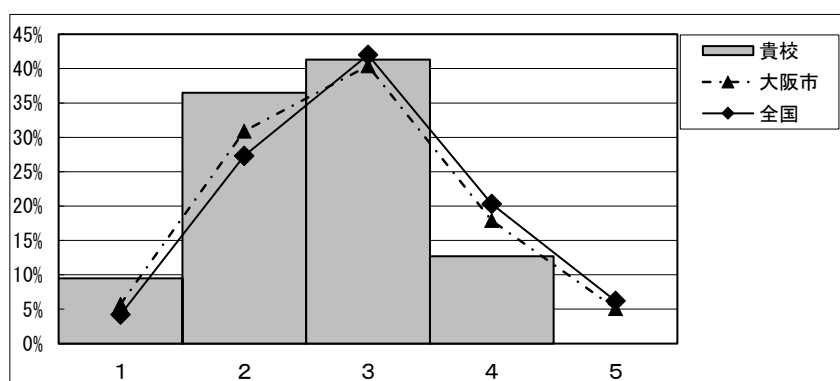
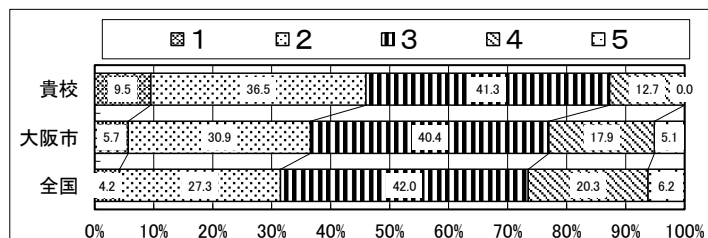


令和7年度 大池中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	454
大阪市	489
全国	503



# 令和7年度 大池中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

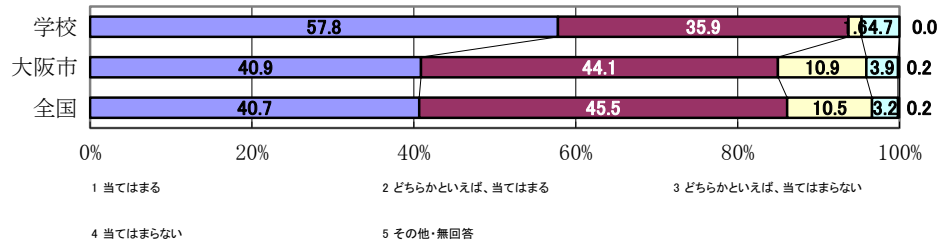
## 生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

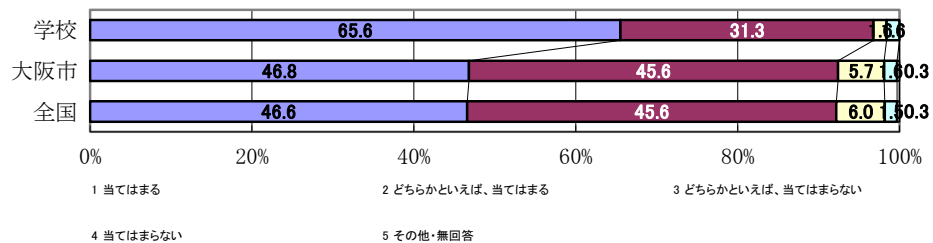
5

自分には、よいところがあると思いますか



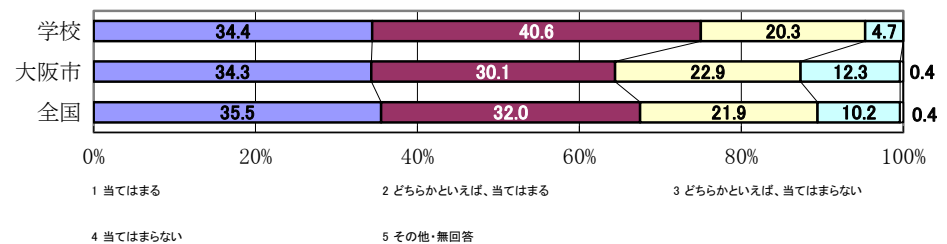
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



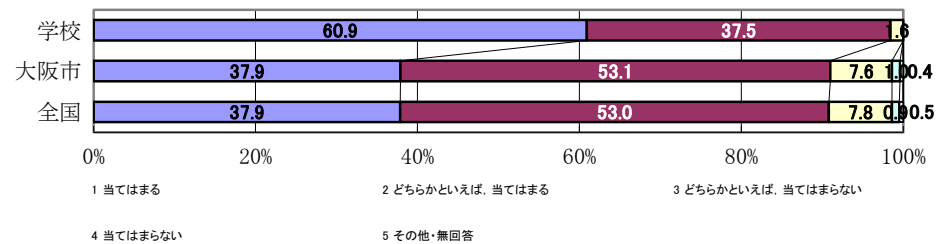
7

将来の夢や目標を持っていますか



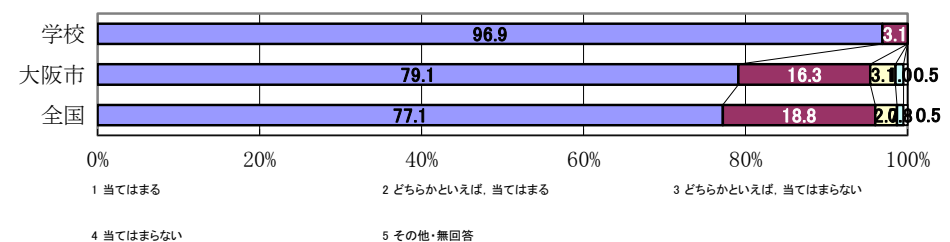
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



# 令和7年度 大池中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

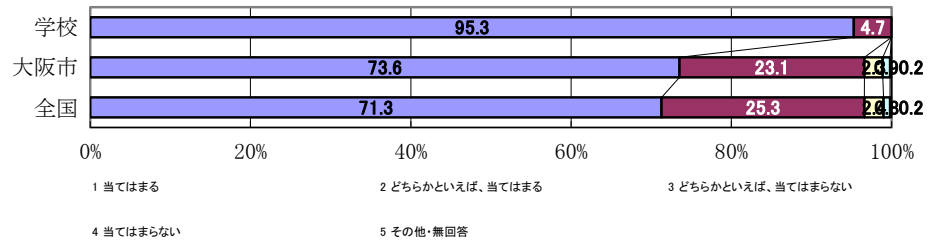
## 生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

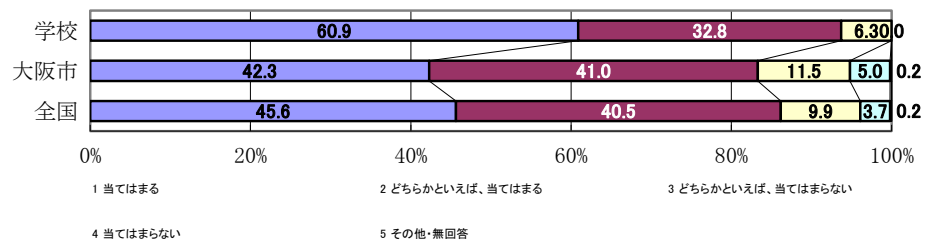
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



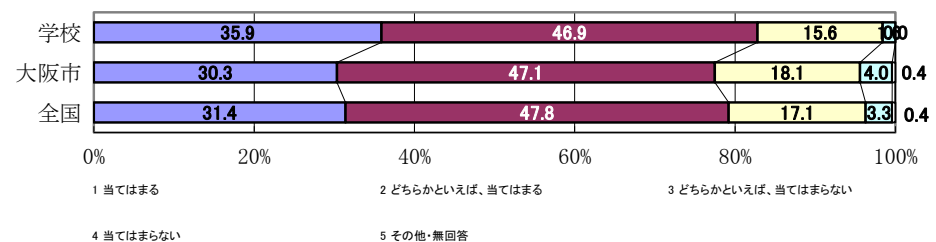
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



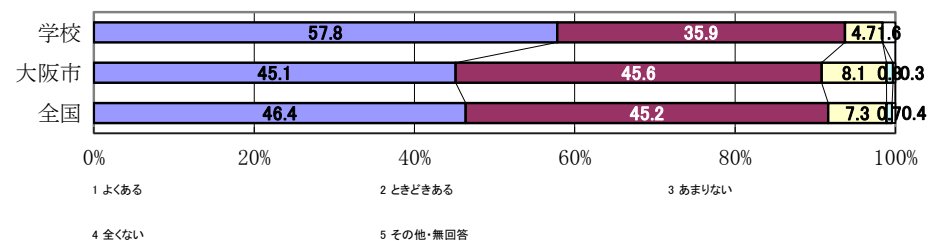
13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



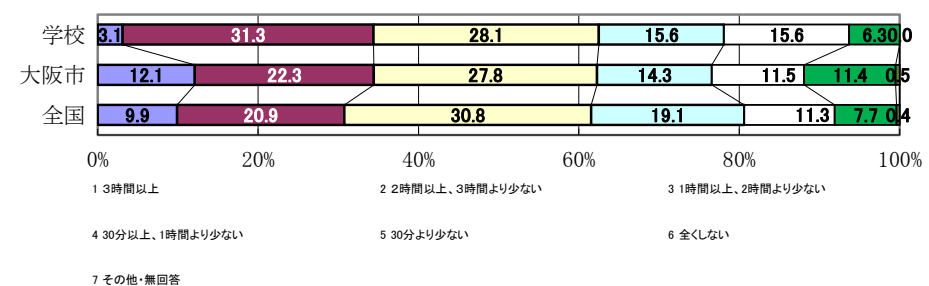
15

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)





令和7年度 大池中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

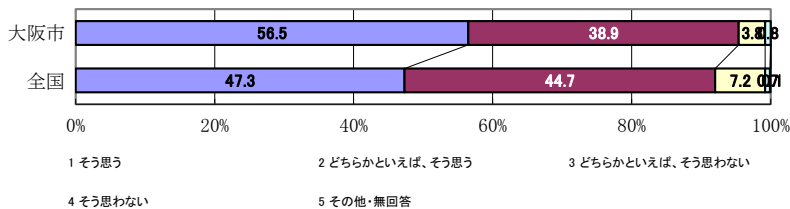
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

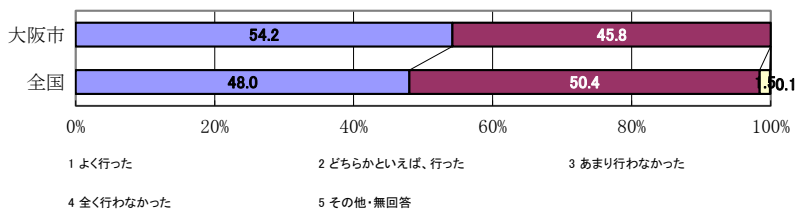
学校 「そう思う」を選択



9

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

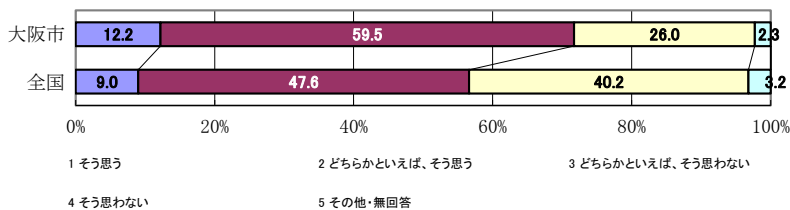
学校 「よく行った」を選択



29

調査対象学年の生徒は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか

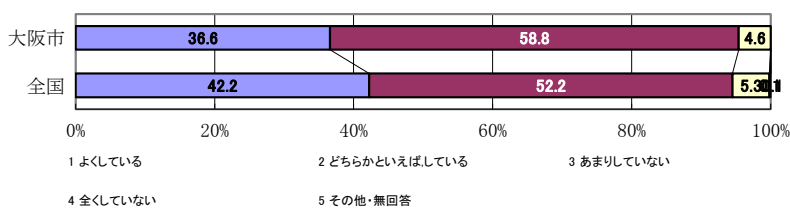
学校 「そう思う」を選択



14

教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか

学校 「よくしている」を選択



16

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

学校 「よくしている」を選択

